

新キャンパスだより

学部等移転年次計画について

これまでの移転年次計画（昭和61年4月15日決定）では、移転完了年度が平成5年度末となっておりましたが、新しい「学部等移転年次計画（平成2年5月15日決定）」では、新キャンパス（西条）へ「平成6年度末移転完了」とすることになりました。

広島大学ではこの4年間に生物生産学部、教育学部及び同福山分校、その他（遺伝子実験施設、集積化システム研究センター、各種福利厚生施設等）の移転あるいは施設整備を行い、少しでも全学の移転完了時期が短縮できるようにと大学としては可能な限りの努力を重ねてきました。（工学部は昭和57年3月移転済）

しかしながら文教施設費の予算が横這いの状況でもあり、計画どおりのキャンパス整備

ができず積み残し事項が生じ、また、現在の好景気を反映して地方における公共事業が敬遠される傾向にあり、これらのことが本学における整備にも影響を及ぼしてきました。

現在、新キャンパスでは理学部、総合科学部、附属図書館、その他体育館等を建設中ですが、以上のような状況に鑑み、これまでの計画どおりの移転実施が不可能なことが明白となりましたので、昨年11月から統合移転実施計画委員会で移転年次計画の見直しについて検討してきた結果、やむを得ず移転時期を見直し、確実性のある学部の移転年次計画で、かつ、最小限の修正として全体計画を1年延期することになりました。

（平成2年5月15日 第423回評議会承認）

新しい各学部の移転年次計画は次のとおりです。

統合移転学部等移転年次計画

平成2. 5. 15
広島大学

区 分	昭和54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	平成元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 以降
事務局・学生部																	
附属図書館				●													
総合科学部																	
文学部																	
教育学部																	
学校教育学部																	
法学部																	
経済学部																	
理学部																	
工学部																	
生物生産学部																	
(体育学部)																	
各種センター類																	
その他																	

[注] ——— 建物整備期間 ● 移転時期● 変更前の移転年次計画

職員宿舎の建設について

陣ヶ平山地区(250戸)の職員宿舎建設計画及び建設場所を見直した結果、平成2年度「ががら地区」(20戸)、平成3年度以降「下見地区」(100戸)に建設する予定です。

なお、下見地区については、今後の埋蔵文化財調査の結果待ちとなっております。

(平成2年3月13日 第81回統合移転実施計画委員会承認)

サービス幹線道東線の植栽及び理学部建物の外壁色について

- 理学部団地西側のサービス幹線道東線の植栽は雄株の銀杏とし、理学部建物の裏側等に雌株の銀杏を1~2本植樹する予定です。
- また、理学部建物の外壁色は、現在の理学部1号館の外壁色を基調としながら、キャンパス全体の調和を重視した色彩となります。

(平成2年3月13日 第81回統合移転実施計画委員会承認)

新キャンパス建設レポート [24]



理 学 部 (東側より望む)



理 学 部 (南側より望む)



低温センター



北体育館



総合科学部建設工事



附属図書館建設工事



地区案内板



教育学部誘導標識